

都市の緑3表彰 受賞者決定

「第38回緑の都市賞」「第29回緑の環境プラン大賞」「第17回屋上・壁面緑化技術コンクール」

緑豊かなまちづくりに貢献する市民団体、企業等を表彰します

(公財)都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的とした3つの表彰事業「都市の緑3表彰」を実施しております。このたび、厳正な審査の結果、内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の受賞者を決定いたしました。

2018年11月19日に明治記念館(東京都港区)において表彰式を行います。

第38回緑の都市賞 《内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞他》

1981(昭和56)年に創設。緑豊かな都市づくりの推進を目的に、みどりを用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰します。(P2-P4)

第29回緑の環境プラン大賞 《国土交通大臣賞、おもてなしの庭大賞他》

1990(平成2)年に創設。同年に開催された「国際花と緑の博覧会」の理念を踏まえ、緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のための助成を行います。(P5-P8)

第17回屋上・壁面緑化技術コンクール 《国土交通大臣賞、環境大臣賞他》

2002(平成14)年に創設。都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、地方公共団体、個人等を表彰します。(P9-P12)

主催 (公財)都市緑化機構：会長 矢野龍 東京都千代田区神田神保町 3-2-4

(一財)第一生命財団：理事長 森田富治郎 東京都千代田区平河町 1-2-10 ※

※ 緑の環境プラン大賞主催

特別協賛 第一生命保険株式会社：代表取締役社長 稲垣精二 東京都千代田区有楽町 1-13-1

第38回 緑の都市賞 受賞団体

応募総数60件、第一次審査会：平成30年8月29日、第二次審査会9月28日

◎内閣総理大臣賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	鶴見 「みどりのルート1」 (神奈川県横浜市)	鶴見 「みどりのルート1」 をつくる会	緑が減少し、看板やゴミが増え、防犯や景観上の問題が発生していた国道沿道において、地域の市民が中心になって、店舗や学校等に呼びかけ、ブロック塀やフェンスの除去と、接道部の魅力的な緑化を実現し、維持管理活動の他、緑を楽しむイベントや勉強会等を実施している。	

◎国土交通大臣賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	おおたかの森と名付けた平地林 (埼玉県所沢市)	おおたかの森 トラスト	所沢市北中地域等において、地域の市民が中心となり、募金による土地の購入、借り受け等により、失われつつある武蔵野の平地林(22か所, 95,106 m ²)を保全し、子供たちと共に豊かな生態系を次世代に引き継ぎ、活動の輪を広げる取組を行っている。	
緑の事業活動部門	医療法人恵愛会 福間病院 (福岡県福津市)	有限会社緑風会/ 医療法人恵愛会福間病院	昭和30年の創設以来、緑に包まれた病院を作ること理念とし、緑地を治療に活用した『自由開放療法』を行っており、江戸時代から続く敷地内の松林の保全を通じて、地域の特徴的な景観を保全している。	
緑のまちづくり部門	農の活きるまち 「ねりま」 (東京都練馬区)	練馬区	都市農地の急速な減少に歯止めをかけるために、農業支援者を育成しマッチングする「援農」や、農園主が運営する農業体験農園等、都市ならではの様々な取組みにより農地を活かしたまちづくりに取り組んでいる。	

◎都市緑化機構会長賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	自由に楽しむ 朝霞の森広場を みんなで育てる (埼玉県朝霞市)	朝霞基地跡地の 自然を守る会/ 朝霞の森運営 委員会	基地跡地において、「自分の責任で楽しむこと」「みんなで育てる広場とすること」を謳った「朝霞の森憲章」に基づき、暫定利用広場「朝霞の森」の管理運営を担い、利用者の安全確保や、緑地の維持管理、広場を楽しむイベントを行っている。	
緑の事業活動部門	大阪 ステーションシティ (大阪府大阪市)	大阪ターミナル ビル株式会社/ 西日本旅客鉄道 株式会社	都心のビルでありながら、至る所で自然と季節を感じ、地上1階から屋上まで、施設全体を回遊したくなるよう、屋内外に約3,000㎡の四季折々の草花を用いた緑化空間を配し、都市を行き交う人々の憩いの空間を創出している。	
緑のまちづくり部門	津波防災緑地等 の多重防御による 復興まちづくり (福島県いわき市)	福島県いわき建設 事務所/いわき市/ 薄磯区/豊間区/ 独立行政法人都市 再生機構宮城・福島 震災復興支援本部	東日本大震災で被災した沿岸部の復興のまちづくり事業で、津波防災緑地や公園に、市民参加で地域のどんぐりを実生から育て植栽し、地域の樹木のDNAを新たなまちに継承する取り組みを行っており、コミュニティの活性化を実現している。	

第 38 回 緑の都市賞 概要

■ 目的

明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進にあたり個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている公共団体を顕彰し、緑豊かなまちづくりの普及と実現を目指すものです。

■ 募集の対象

緑の市民協働部門	応募資格：主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するもの
緑の事業活動部門	応募資格：主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるもの ・NPO 法人等でも、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含む ・学校や病院等で、業者委託として緑地の整備や管理を行っているものも含む
緑のまちづくり部門	応募資格：主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているもの

■ 表彰

内閣総理大臣賞	1 点 [副賞20万円 (活動助成金)]
国土交通大臣賞	3 点以内 [副賞15万円 (活動助成金)]
都市緑化機構会長賞	3 点以内 [副賞 10 万円 (活動助成金)]
奨励賞	若干 [副賞 5万円 (活動助成金)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■ スケジュール

募集期間 2018年4月1日～6月30日

入選発表 2018年10月12日

審査会 一次：2018年8月29日 二次：9月28日 表彰式 2018年11月19日於：明治記念館

■ 審査委員

委員長 樺山 紘一 印刷博物館館長
委員 青木 由行 国土交通省都市局長
池田 三知子 一般社団法人日本経済団体連合会 自然保護協議会 事務局長
池邊 このみ 千葉大学大学院園芸学研究科教授
石川 幹子 中央大学理工学部人間総合理工学科教授
陣内 秀信 法政大学特任教授
野口 智子 ゆとり研究所所長
畑中 秀夫 第一生命保険株式会社取締役常務執行役員
涌井 史郎 東京都市大学特別教授
宮下 和正 公益財団法人都市緑化機構専務理事

■ 主催等

主催：公益財団法人都市緑化機構

後援：国土交通省，総務省，環境省，全国知事会，全国市長会，全国町村会

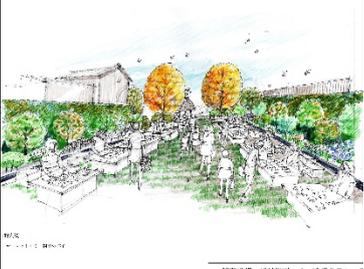
特別協賛：第一生命保険株式会社

協賛：日本商工会議所，公益社団法人日本青年会議所，一般社団法人日本公園緑地協会，一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会，一般財団法人公園財団，一般財団法人日本造園修景協会，一般財団法人日本緑化センター，公益財団法人河川財団，一般社団法人日本建設業連合会

第29回 緑の環境プラン大賞 受賞団体

応募総数47件、審査会：平成30年9月26日

◎国土交通大臣賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	輪島の朝市 横蝶 ~蝶々とあそぶみんなの庭をつくろう (石川県輪島市)	チームおんぺこ	輪島朝市通りに通じる街中の空き地を、緑豊かで蝶が舞う交流の広場とするもの。蝶をはじめ能登の里山で見ることができる生き物を誘引し、子どもから高齢者までが集い、共に庭仕事を楽しむことのできる交流拠点を目指す。	
ポケット・ガーデン	地域の団らん「遊歩道」~フラワー・ピースフル・ロード~ (宮城県仙台市)	仙台ナーサリー株式会社 ピースフル保育園	保育所前にある水道管上部の未利用地を緑化し、子どもたちが植物や食に興味を持てる空間とするもの。地域の方が気軽に立ち寄れる「フラワー遊歩道」としても開放し、地域と子どもたちの関わり場とすることを目指す。	

◎緑化大賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	花の歩話人ロード西公園 (宮城県仙台市)	西公園を遊ぼうプロジェクト	明治8年開園の歴史ある西公園において、針葉樹の大木により暗く寂しくなった園路沿いに、花畑とベンチ、テーブルを整備して明るい環境とし、人々が憩い、賑わう空間へと再生することを目指す。	
シンボル・ガーデン	緑とお花と癒しの広場・地域の「どぎゃんね・ガーデン」 (熊本県熊本市)	社会福祉法人 沼山津福祉会 光輪保育園	未利用地を活かし、園児と自治会など地域の人々でつくり楽しむコミュニティ・ガーデンとして整備するもの。熊本地震による、被災から2年が経過し、地域コミュニティ力が求められるなか、庭づくりを通じて地域の交流の輪を広げることを目指す。	

◎コミュニティ大賞 [9点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	こくちよう広場 ～季節を感じる 場所に～ (宮城県仙台市)	社会福祉法人 仙台愛隣会 穀町保育園	園庭を3つのエリアに分け、テーブルやベンチを配置し、シラカシ、クヌギ、ツバキの実を使ってままごと等でじっくり遊ぶ「どんぐり広場」、三輪車で緑のトンネルをくぐることもできる「わいわい広場」、畑や樹木・草花で四季を感じる「季節の広場」とするもの。	
ポケット・ガーデン	地域の魅力を 共有・発信する 青葉山 フットパーク (宮城県仙台市)	青葉山・八木山 フットパスの会	青葉山フットパークは、地元住民が身近に楽しめる緑地を目指すとともに、散策者の休憩所としての活用も想定している。対象地周辺の住民を中心として様々な人たちの参加のもとで整備を行う。	
ポケット・ガーデン	変革！ 「保育園森プロジェクト」地域の人と 繋がる窓へ (福島県郡山市)	社会福祉法人 どろんこ会 郡山どろんこ 保育園	園を大きな家と捉え、①ビオトープでの水・命の経験 ②木(実・植物・木のぼりの木・枝)で「真に必要な体験」=五感を十分に使い直接的な自然体験の場で、制限のない空間と時間の中で遊びこめる場を造り、地域の方が集え自由に行き来できる場を目指す。	
ポケット・ガーデン	「自然を身近に! 心も身体も動き 出したいくなる園庭」 整備 (静岡県浜松市)	社会福祉法人 住吉会 すみよし保育園	子ども達のより良い環境としての園庭作りを考えている。自然の中で太陽の光を浴び、木陰で語り、草の中に虫を見つけ、心を開放し、全身を使って遊ぶことができる園庭を目指す。	
ポケット・ガーデン	花と緑の 四季彩まちづくり (奈良県生駒市)	ECOKA委員会	郊外型大規模住宅開発地において、真の豊かさを実感できる花と緑の都市環境の形成を図るとともに、住環境の向上やコミュニティの醸成に役立つことを願い、四季彩の街にふさわしい魅力ある花壇づくりを行う。	
ポケット・ガーデン	木の都 上町台地 における「ともいき の里庭」整備プラン (大阪府大阪市)	特定非営利 活動法人 まち・すまいづくり	斜面緑地と一体となる緑地を形成する庭の整備と、台地の湧水を活用した溜池を再生し、都市部で水生生物や自然と触れ合える「ふれあいの庭」として、斜面緑地の機能(生物多様性保全など)を知ってもらう空間作りを行う。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	水がせせらぎ 蛍の棲む 高層住宅の中の シンボル緑化 計画 (兵庫県西宮市)	社会福祉法人 パドマ園 パドマ・ナーサリース クール	高層住宅の中に、蛍の生息する自然環境を整備し、今までになかった地域のシンボル緑地を形成。自然に親しむ事で子供の心と身体を育み、人と自然が共生できる場所づくりを行う。蛍をきっかけに季節の魅力を持たせ、コミュニティの活性化に寄与する。	
ポケット・ガーデン	モリアオガエルの 暮らす水辺の 植物ガーデン (広島県広島市)	広島市立 緑井小学校	対象地の付近には天然記念物であるモリアオガエルが生息しており、その生態を児童が気軽に観察できる環境を整備する。水辺の植物と周辺の林をつなぐ中低木を配したポケット・ガーデンを企画し、水生生物も飼育することを考えている。	
ポケット・ガーデン	ふるさとの山 (八面山) 回帰プロジェクト (大分県中津市)	元氣会	八面山は、中津市民にとって母なる山として慣れ親しまれている。草屋根のかわいい小屋2棟と花壇、四季の草花を市民参加でつくり魅力ある公園にすることで、多くの方の関心を引き、八面山を訪れて楽しんで頂けることを期待する。	

◎「おもてなしの庭」大賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
特別企画 「おもてなしの庭」	江戸ルネサンス 伝統と文化が薫るお もてなし (東京都台東区)	台東区	2020年東京オリンピック・パラリンピックのマラソンコース上にあり、訪都外国人観光客の約半数が訪れる浅草寺の門前に位置する並木通り中央分離帯において、竹と朝顔をモチーフとする、江戸の伝統と文化の薫りを表現した「おもてなしの庭」を創出する。	

第 29 回 緑の環境プラン大賞 の概要

■ 目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等を図るものです。また、東京都内を対象として「おもてなしの庭」プランを公募し、優れたプランを表彰・助成することで、花と緑で観光客を迎えるおもてなし空間の創出を図ります。

■ 募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	地域のシンボリックな緑地として、緑の持つヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集します。
特別企画 「おもてなしの庭」	東京都限定	2020年に向けた特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする魅力ある緑の創出、およびその場所でのおもてなしの活動に関するアイデアを盛り込んだプランを東京都内限定で募集します。

■ 表彰

● シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞800万円以内（工事に対する助成金）
緑化大賞	2点以程	副賞800万円以内（工事に対する助成金）

● ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞100万円以内（工事に対する助成金）
コミュニティ大賞	9点程度	副賞100万円以内（工事に対する助成金）

● 「おもてなしの庭」プラン

おもてなしの庭大賞	1点	副賞2,020万円以内（工事及び活動に対する助成金）
-----------	----	----------------------------

■ 審査委員

委員長	進士 五十八	福井県立大学 学長 / 東京農業大学 名誉教授
委員	青木 由行	国土交通省 都市局長
	金子 忠一	東京農業大学 教授
	永山 妙子	マネジメントコンサルタント
	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
	松本 肇	株式会社産業経済新聞社 取締役 営業・事業担当
	村上 暁信	筑波大学 システム情報系 教授
	稲垣 精二	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	小野 文夫	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■ スケジュール

募集期間	2018年4月1日～6月30日	入選発表	2018年10月12日
審査会	2018年9月26日	表彰式	2018年11月19日 於：明治記念館

■ 主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構，一般財団法人第一生命財団
 後 援：国土交通省，環境省，全国知事会，全国市長会，全国町村会，東京都（おもてなしの庭）
 特別協賛：第一生命保険株式会社
 協 賛：一般社団法人建設広報協会，一般社団法人日本公園緑地協会，
 一般社団法人日本造園建設業協会，都市緑化基金等連絡協議会
 協 力：株式会社フジテレビジョン，株式会社産業経済新聞社，株式会社ニッポン放送

第17回「屋上・壁面緑化技術コンクール」受賞団体

応募総数25件（屋上：8件、壁面・特殊：14件、特定：3件）

審査委員会：平成30年8月28日

◎国土交通大臣賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	GINZA SIX (東京都中央区)	銀座六丁目10地区市街地 再開発組合/ 株式会社谷口建築設計研究所/ 鹿島建設株式会社/ 株式会社プレイスメディア/	本作品は「松坂屋銀座店」跡地を含む街区と隣接街区で構成された約1.4haを一体的に整備した。「自然に親しむ近世江戸の庭園文化」と「街の賑わいを楽しむ西洋の広場文化」を融合したコンセプトにランドスケープデザインを行っている。	
壁面・特殊緑化部門	新山口駅 「垂直の庭」 (山口県山口市)	山口市/ 新山口駅南北自由通路 「垂直庭園」実行委員会/ 株式会社プランツアソシエイツ/ 株式会社パーク・コーポレーション	本作品は“新山口駅ターミナル整備事業”として南北自由通路に整備された。山口の里山を表現し、約135種の在来種を使用した。地域の植生をP・プラン氏による壁面緑化のアートとして再現し、施工時から地域住民が参加している。	

◎環境大臣賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	パッシブタウン 第1期街区 + 第2期街区 (富山県黒部市)	YKK不動産株式会社/ 株式会社プレイスメディア/ 株式会社エステック計画研究所/ 株式会社楨総合計画事務所/ 戸田建設株式会社/ 株式会社野上緑化/	本作品は環境や自然をありのままに受け入れ、活用する「パッシブデザイン」をキーワードに社宅跡地(36,100m ²)を整備した。水、風、自然光、土、それらに育まれる緑など、黒部の自然環境が有するポテンシャルを最大限に生かしている。	
壁面・特殊緑化部門	福德神社 ・ 福德の森 (東京都中央区)	三井不動産株式会社/ 株式会社日本設計/ ランドスケープデザイン塾/ 清水建設株式会社/ イビデングリーンテック株式会社/	本作品は、1,100年以上の歴史ある「福德神社」を再建、神社と一体の「福德の森」を創造し、駅からの地下歩行者ネットワーク形成等の地域貢献を行いながら、人工地盤上に地域の精神的な拠り所となる緑豊かな空間を表現している。	 ©川澄・小林研二写真事務所

◎日本経済新聞社賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	太田市美術館・図書館 (群馬県太田市)	太田市美術館・図書館/ 株式会社平田晃久建築設計事務所/ 株式会社エスエフジー・ランドスケープアーキテクト/ 株式会社プランタゴ/ 石川建設株式会社/ 株式会社山梅/ 株式会社イケガミ	本作品は太田駅北口に建つ美術館、図書館、カフェやショップ、AVホールを有する文化交流施設である。太田駅前に「山」をつくることを考え、外構から屋上まで全体がひとつの山となるよう、枝葉が横に広がる樹種や壁面に垂れ下がる植物を使用し、独立した屋上に連続性を与えている。	 ©daici ano
壁面・特殊緑化部門	小学館ビル (東京都千代田区)	小学館不動産株式会社/ 株式会社日建設計/ 鹿島建設株式会社東京建築支店/ 西武造園株式会社	本作品は東京を代表する「本の街」神保町の白山通り沿いに立地するビルの建替に伴う壁面緑化である。構造鉄骨を有効に活用し、設備機器を遮蔽し、都市に象徴的な緑化景観を提供している。特徴的なファサードとのコントラストは、都市と自然の調和性の創出に寄与している。	

◎都市緑化機構会長賞 [5点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	グローバルゲート (愛知県名古屋市)	株式会社竹中工務店/ 有限会社オンサイト計画設計事務所/ 株式会社朝日興産	本作品は名古屋駅南西の新しい街「ささしまライブ 24」の中核施設である。2棟の超高層ビルの足元を緑豊かな屋上緑化でつなぎ、様々なレベル差を持った「第2の大地」として、緑地を確保しながら、密度を変えて人の居場所を創りだしている。	
壁面・特殊緑化部門	コイズミ緑橋ビル (大阪府大阪市)	小泉産業株式会社/ 株式会社竹中工務店/ 株式会社田中造園	本作品は大阪市内の住宅地に位置する研究開発施設(あかりの杜)である。まちに対しては“緑段の PARK”、ワークプレイスに対しては“各段の GARDEN”として、適度なヒューマンスケールとリアルな自然との関わりを創り出している。	
壁面・特殊緑化部門	横浜野村ビル「グリーンラジエーター®」 (神奈川県横浜市)	野村不動産株式会社/ 清水建設株式会社/ 株式会社フィールドフォー・デザインオフィス/ 株式会社コミヤマ環境/ みのる産業株式会社	本作品は両面に緑化を施した縦型緑化ルーバーを外壁面と垂直に自立設置したシステムである。緑化基盤からの蒸発散により、都市のクールスポットを創出するだけでなく、森の林縁部や岩場等に自生する植物を採用し、人と自然が共生するデザインを実現した。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
特定 テーマ 部門	アトレ恵比寿 西館 空中花園 (東京都渋谷区)	株式会社アトリウム/ 株式会社アトレ/ 株式会社ジェイアール 東日本建築設計事務所/ 大成建設株式会社/ そら植物園株式会社/ イビデングリーンテック株式会社	本作品は JR 恵比寿駅西口広場にオープンした駅と直結した商業施設の屋上ガーデンテラスである。「圧倒的に豊かな緑量」「人を魅了するシンボルツリー」「サプライズ」「オプション演出」をキーワードに来訪者に愛される場所、「非日常」の空間を創出している。	
特定 テーマ 部門	本等 鮫 海馬 (東京都中央区)	株式会社 kt 一級建築士事務所/ 神戸山手大学/ 河野工務店/ 株式会社 SOUL EAT	本作品は東京京橋の骨董通りに位置する鮫屋のファサードである。鉄のフレームを組み、6つの箱型扉に緑のプランターを乗せている。水やりはスタッフの日課としており、植物の状態を意識し、常にきれいなファサードを維持している。	

第17回 屋上・壁面緑化技術コンクール 概要

■目的

屋上等特殊空間の緑化について、意欲的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、屋上等特殊空間の緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市環境の改善を進め、豊かな都市生活の実現に寄与することを目的としています。

■応募対象

屋上緑化部門	建築物の屋上、屋根の緑化
壁面・特殊緑化部門	①建築物の壁面の緑化 ②土木建造物の壁面(高架道路壁面、擁壁等)の緑化 ③土木建造物の高架(道路・鉄道高架部分、橋等)上・下空間の緑化 ④屋内(アトリウム、室内、地下空間等)、ベランダの緑化 ⑤その他通常の方法では緑化が困難な空間の緑化
特定テーマ部門 「小規模空間の緑化」	屋上緑化部門、壁面・特殊緑化部門に準ずる、応募作品の面積が300㎡以下の緑化

・応募作品の完成時期：2017年3月31日までに完成したものの。

■表彰

表彰	表彰者	部門と表彰作品数	適用
国土交通大臣賞	国土交通大臣	異なる部門から2点	土木・建築計画、都市計画等の視点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品
環境大臣賞	環境大臣		生物多様性、環境への配慮等の視点から、特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品
日本経済新聞社賞	日本経済新聞社		特に優れた作品
都市緑化機構会長賞	都市緑化機構会長	各部門 2点以内	技術水準が高く、優れた作品

■スケジュール

募集期間 2018年4月1日～6月30日

入選発表 2018年10月12日

審査委員会 2018年8月28日

表彰式 2018年11月19日 於：明治記念館

■審査委員

委員長	山田 宏之	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
委員	五十嵐 康之	国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長
	井上 洋	一般財団法人ダイバーシティ研究所参与
	今村 芳恵	一般財団法人日本建築センター理事・業務企画部長兼建築技術研究所部長
	仙田 満	東京工業大学名誉教授、環境デザイン研究所会長
	畑中 秀夫	第一生命保険株式会社取締役常務執行役員
	宮沢 洋	日経BP社日経アーキテクチュア編集長
	森本 幸裕	京都大学名誉教授
	山崎 誠子	日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科准教授
	吉川 圭子	環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室室長
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構専務理事

■主催・後援等

- ・主催：公益財団法人都市緑化機構
- ・後援：国土交通省，環境省，東京都，日本経済新聞社
- ・特別協賛：第一生命保険株式会社，協賛：住友林業株式会社
- ・協力：一般財団法人公園財団，公益財団法人都市計画協会，一般財団法人日本造園修景協会，一般財団法人日本緑化センター，一般社団法人日本公園緑地協会，一般社団法人日本造園建設業協会，一般社団法人日本公園施設業協会，一般社団法人日本建設業連合会，一般社団法人公共建築協会，一般社団法人不動産協会，一般社団法人日本造園組合連合会，一般社団法人日本植木協会，一般社団法人都市計画コンサルタント協会，公益社団法人日本造園学会，一般社団法人日本ビルディング協会連合会，一般社団法人日本建築学会，一般財団法人日本建築センター，一般財団法人日本宝くじ協会，一般財団法人民間都市開発推進機構，一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会，一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟，公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター